



佐々木小

勇気を出して…いじめを見逃しません！

校長 齋藤 博敏

- ・ 全校朝会で校長先生のお話を聞いて分かったことは、思いやりのある学校にするためには、いじめをしないことです。いじめをしている所を見て知らないふりをしたら、自分もいじめていることにつながるから、大人の人に勇気を出して言うことです。(略)
今までの自分は、友だちに嫌なことを言わなかったです。だから、これからも悪口や人を嫌な気持ちにさせないようにしたいです。
(3年男子)
- ・ 全校朝会で校長先生のお話を聞いて分かったことは、自分がふざけてやったことでも、犯罪になることが分かりました。考えたことは、もしいじめがあったら、助けてあげることです。
もしかしたら、これまで自分が知らないうちに、嫌だとなと思った人がいるかもしれないから、これからは、気にしてやりたいです。人のことを考えて、自分がされて嫌なことは、人にもしないようにしたいと思います。
(3年女子)

10月の全校朝会後の子どもたちの感想です。

10月の全校朝会では、新潟県警察本部少年課少年サポートセンター作成の動画「いじめ防止教室(小学生版)」(YouTube 新潟県警察公式チャンネル)を見ながら、いじめについて、再確認しました。

「いじめは犯罪につながる」から始まり、

いじめ1 友達の物を壊したり、隠したりするは、器物損壊罪・窃盗罪

いじめ2 たたいたり、おしたりするは、暴行罪・傷害罪

いじめ3 友達を怖がらせたり、言うことを聞かせたりするは、恐喝罪・強要罪

いじめ4 ネット上に悪口を書き込むは、名誉毀損罪・侮辱罪

そして、最後には、「いじめを目撃したときに限らず、自分がいじめられた。友達がいじめられて悲しんでいた。そんな時は、必ず信頼できる大人に相談しましょう。勇気をもって相談しましょう。」と呼びかけています。子どもたちにとっては、ある意味、ショッキングな内容でしたが、どの子も真剣なまなざしで動画を食い入るように見ていました。

いじめは、「どの学校、どの学級、どの子にも起こりうる」と捉え、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に全職員で取り組んでいます。授業中はもちろんのこと、休み時間の子どもたちの様子を観察し、「いつもと様子が違う」「表情がさえない」等、おやと思ったときには、声を掛けるとともに、担任だけでなく、全職員で情報を共有しています。御家庭でも、お子さんの様子で気になることがありましたら、いつでも御連絡ください。学校・家庭・地域で、さらに強いネットワークを築き、「いじめをしない！決して見逃さない！決して許さない！」「見て見ぬふりをしない！みんなで声を掛け合う！」を合い言葉にいじめ防止に全力で取り組みましょう。

